

ふるさと納税（寄附金）の活用について（御報告）

ふるさとくまもとを応援していただきました皆様 へ

若草もえる季節、皆様におかれましては、お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、昨年度は「ふるさと納税」で、ふるさと熊本県に対し貴重な御寄附をいただき、誠にありがとうございました。

さて、本日は、皆様からいただきました貴重な志である寄附金（ふるさと納税）の活用内容につきまして、御報告させていただきます。

今後とも、ふるさと熊本県へ熱い御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年5月

熊本県知事 浦島郁夫

《平成21年度の寄附金の受付状況》

熊本県への寄附金	566件 58,990,815円	県事業に活用
市町村への寄附金	298件 18,493,000円	市町村の事業に活用
共同窓口受付計	622件 77,483,815円	

【基本的な考え方】

皆様のふるさと熊本への温かい想いをしっかりと受け止め、大切にさせていただくため、一旦、基金に受入れ、用途を明確にして活用します。

「くまもとの夢実現」を加速化するため重点的に実施する事業や、将来の「くまもと」の礎を築き、熊本の可能性を大きく飛躍させる施策に活用します。

上記の考え方に基づき、皆様からいただきました寄附金を次の事業の財源に活用させていただきます。

【農林水産業の可能性の大きな飛躍】

寄附金活用額 500万円

県産農林水産物等の認知度向上と販路拡大



生産者団体が参加するフェアや商談会等で、知事が生産者の応援団としてセールスプロモーションを実施し、本県の認知度の浸透・定着を進めるとともに生産者の意欲向上を図ります。



熊本産「くまもと・オイスター」づくり

「くまもと・オイスター」を新たな「くまもとブランド」として育成するための種苗量産技術の開発や養殖海域調査、流通現状の把握による、販売に向けた体制の確立を図ります。



【新幹線全線開業、熊本の拠点性向上】

寄附金活用額 1,010万円

新幹線元年戦略の推進

平成23年3月の九州新幹線全線開業の効果を県下全域に広げられるよう、熊本の魅力を更に磨き上げ、県内外に発信する「新幹線元年戦略」に県民総力戦で取り組みます。



湧水源を活かした地域活性化

地下水の宝庫熊本を全国に向けてアピールするため、市町村等が実施する湧水源のPRや湧水公園整備等のモデル的な取り組みに対する補助を行います。

世界文化遺産登録に向けて

県内の貴重な文化資産の価値を見つめ直し、未来に引き継いでいくため、「九州・山口の近代化産業遺産群」、「阿蘇」、「天草のキリスト教関連資産」の3件について、世界文化遺産への登録を目指します。



【高齢者が主役の地域づくり】

寄附金活用額 750万円

住み慣れた地域で安心して暮らせる社会

年をとっても、障がいがあっても、誰もが住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるよう、子どもから高齢者、障がい者など、誰もが日中及び夜間に利用できる施設「地域ふれあいホーム」の整備推進を図ります。



認知症に関する医療体制、介護体制、地域支援体制の強化を図ることにより、認知症になってもできるだけ住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指します。

安全安心で住みやすい社会



高齢者を中心に地域で活動している自主防犯活動団体に対して、「防犯パトロール手帳」（仮称）を交付して活動の更なる活性化を図り、安全で安心して暮らせる地域社会を実現します。

【進学、就業等若者の「夢」の実現】

寄附金活用額 3,520万円

子どもたちの「夢への架け橋」となる教育

退職職員等を活用した児童生徒の学習意欲の向上、家庭教育力の向上及び放課後子ども教室における体験的学習の支援を行います。



子どもたちの体験学習風景
(放課後学習向上アドバイザー指導現場)



子どもたちが経済的な理由で大学などへの進学の夢を断念しないよう、生活費の貸付等資金の充実を図ります。



「夢の道しるべ」事業：末續慎吾選手による高校生に対する実技指導風景

進学、スポーツ・文化活動、就職などを通じた魅力ある私学づくりや私学に通う生徒の意欲・自主性の向上に対する取組みなどに対し支援を行います。

ふるさと納税制度による寄附控除は、毎年受けられます。したがって、この制度を活用し、継続して「ふるさとくまもと」を応援していただくことができますので、平成22年度もどうぞよろしくお願いいたします。

